

(様式第11)

平成 28 年 8 月 12 日

さいたま市長 様

申請者 住所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
 氏名 埼玉県 埼玉県知事 上田 清司



埼玉県立小児医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒 330-0301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏名	埼玉県

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

埼玉県立小児医療センター

3 所在の場所

〒 339-8551
 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込2100番地 電話 (048) 758 - 1811

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
— 床	— 床	— 床	— 床	300 床	300 床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 27 床 救急蘇生装置、心除細動除去装置、呼吸心拍監視装置、心電計、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置
細菌検査室	(主な設備) 感受性同定装置(マイクロスキャンウオークアウェイ)、血液培養装置(バクテアラート)
病理検査室	(主な設備) 電子顕微鏡及び標本作成機器一式、病理蛍光顕微鏡、マイクローム、凍結切片作成装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、ディープフリーザー
病理解剖室	(主な設備) 病理解剖設備一式、遺体安置冷蔵庫、ディープフリーザー
研究室	(主な設備) 遺伝子解析装置、細胞分離装置、マイクロアレイ、リアルタイムPCR
講義室	室数 1 室 収容定員 200 人 (兼 研修室)
図書室	室数 1 室 蔵書数 26,000 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 34.5 m ² [共用室の場合] ○○室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	96.1 %	算定期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
地域医療支援病院逆紹介率	31.6 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数	9,459 人	
	B : 初診患者の数	9,841 人	
	C : 逆紹介患者の数	3,112 人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

別紙1参照

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	6 床
専用病床	0 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急処置室	45.7 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
放射線技術部	817.4 m ²	(主な設備) CT、MRI、一般撮影装置、超音波診断装置、血管撮影装置	可
検査技術部	428.3 m ²	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、感染症分析装置、血算測定、凝固測定	可
集中治療室 (新生児含む)	341.0 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
	m ²	(主な設備)	

4 備考

--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,082 人 (808 人)
上記以外の救急患者の数	2,690 人 (841 人)
合計	3,772 人 (1,649 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

なし

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

共同利用病床、手術室、高度診断機器、病理解剖(受託)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：
職種：事務

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙2参照				

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8 床
--------------	-----

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; display: inline-block;">別紙3参照</div>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	29 回
(2) (1) の合計研修者数	1,335 (内当センター職員 178) 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
保健発達棟研修室1	74.5 m ²	机、椅子、パソコン、プロジェクター ※研修室1～3は、可動パーティションにより、仕切られており、2室または3室併せた使用が可能。
保健発達棟研修室2	48.9 m ²	
保健発達棟研修室3	56.1 m ²	
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<ul style="list-style-type: none"> ・総務担当 ・看護部 ・薬剤部 ・医事担当 ・病歴室 	<ul style="list-style-type: none"> ・月別、年度別 ・日別、月別、年度別 ・患者番号
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携・相談支援センター	月別、年度別
	救急医療の提供の実績	医事担当	日別、月別、年度別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務担当	月別、年度別
	閲覧実績	医事担当	月別、年度別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携・相談支援センター	日別、月別、年度別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	病歴室
閲覧の手続の概要	
<p>・閲覧の諸手続きに則り、申請を受けたものについて、条例もしくは要綱に基づき適正に閲覧を認める。 なお、閲覧には当センターの職員が立ち会うものとする。</p>	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
委員会における議論の概要		
<p>開催日時 平成27年8月20日(木) 13:30~15:00</p> <p>1. 委員及び当センター幹部の紹介を行った。</p> <p>2. 協議・報告事項 (1) 運営状況 当センターの運営状況について報告があった。</p> <p>(2) 診療状況 (ア) 紹介の概要、外来・入院の概要 (イ) 内科系の各診療科の外来・入院の概要 (ウ) 外科系の各診療科の外来・入院の概要 (エ) 保健発達部門の概要 (オ) 地域医療支援病院の概要</p> <p>各委員からの質疑を受け、以下の事項について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・予防接種センターの対応について・未熟児や被虐待児の増加等重症心身障がい児に対するレスパイトなど行政も含めた連携の必要性について・看護師の確保問題や実習の受入について <p>(3) 新病院及び跡地診療所について</p> <ul style="list-style-type: none">・当センターの新病院および跡地診療所の整備について情報提供を行った。・救急体制や感染症への対応について意見交換を行った。・跡地診療所の運営委託先や駐車場混雑に対する当センターの考えについて意見交換を行った。 <p>また、新病院に向けての進捗状況や意見交換の場、新しい情報の都度発信について要望があった。</p> <p>※この委員会の他、「埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会要領」に基づき、開催された小児疾患集談会の席において、地域の医療機関と意見交換、情報共有を行った。 (平成27年度は4回開催)</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	<input checked="" type="radio"/> 相談窓口 <input checked="" type="radio"/> 相談室 <input checked="" type="radio"/> その他 (病棟等)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	職種：ソーシャルワーカー 氏名：
患者相談件数	8,966 件
患者相談の概要	
<p>平成27年度実績</p> <p>【患者相談の主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療費相談:健康保険・公費負担制度の活用援助、医療費支払いに関する相談 2 福祉相談:各種手帳・年金・手当・補装具・治療材料等各種制度活用援助 3 療養相談:受診援助・入院援助・療養上の問題調整 4 生活問題:家族問題調整・就労問題調整・住宅問題調整・日常生活援助 5 療育相談:療育援助・療育機関紹介(通所訓練施設・入所施設) 6 教育相談:障害児保育・就園・就学・特別支援教育相談 7 退院相談:退院に関する援助全般 8 虐待相談:乳幼児虐待(不適切養育全般)に関する相談・対応、関係機関との連絡調整 9 精神関連:患者・家族の精神科領域に関する相談援助 10 心理的相談:患者・家族の主として心理的な支援に関すること <p>【講じた対策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院内虐待対応チームの早期介入により、子ども虐待の予防に努めた。 2 外国人通訳ボランティアの導入により、外国人患者への適切な対応に努めた。 3 職員の「患者支援」、「患者との円滑なコミュニケーション」の意識付けを図るため、患者サポートチームを設置し、定例会(週1回)を開催した。 4 小児がん拠点病院として相談支援センターを立ち上げ、専用の相談窓口について案内した。 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないように配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・ 機関名：日本医療機能評価機構 ・ 受審時期：平成21年2月 ・ 有効期間：平成21年5月17日～平成26年5月16日(Ver.5) ※次回は、新病院移転後に受審予定。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ・ 各研究会、研修会の案内 → 郵送、電子メール ・ 各月の診療スケジュール → 郵送、ホームページ ・ 小児医療センターだより → 郵送	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有 ・ 無
・ 退院調整部門の概要 ・ 在宅支援相談室の看護師および地域連携・相談支援センターのソーシャルワーカーが、各病棟と連携している。また、患者家族と面談、地域の医療機関や施設とのカンファレンスを経た退院調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 ・ 無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・ 小児患者の特性と疾患の特性を十分に考慮し、他の医療機関との連携による治療が可能と思われる症例について、地域連携パスの作成を検討していく。	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

1 / 13

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
24	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
25	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
27	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
28	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
29	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
30	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
31	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
32	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
33	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
34	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
35	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
36	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
37	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
38	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
39	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
40	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
41	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
42	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
43	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
44	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
45	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
46	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
47	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
48	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
49	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
50	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
51	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
52	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
53	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
54	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
55	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
56	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
57	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
58	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
59	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
60	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
61	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
62	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
63	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
64	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
65	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
66	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
67	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
68	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
69	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
70	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
71	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
72	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
73	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
74	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
75	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
76	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
77	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
78	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
79	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
80	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
81	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
82	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
83	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
84	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
85	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
86	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
87	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
88	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
89	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
90	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
91	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
92	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
93	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
94	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
95	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
96	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
97	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
98	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
99	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
100	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.00時間/週	
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	15.00時間/週	
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	10.00時間/週	
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.00時間/週	
40	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	15.50時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
24	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
25	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
27	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
28	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
29	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
30	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
31	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
32	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
33	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	
34	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	
35	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.50時間/週	
36	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.00時間/週	
37	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.00時間/週	
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	経営上の関係
木崎診療所		さいたま市浦和区木崎1-2-11	内科、整形外科	なし
山口クリニック		さいたま市南区南浦和2-44-9	呼吸器科	なし
西大宮病院		さいたま市大宮区三橋1-1173	内科、外科	なし
河野外科胃腸科		さいたま市大宮区三橋1-891-2	内科、外科	なし
村井クリニック		さいたま市見沼区東大宮5-27-6	内科、整形外科	なし
七里産婦人科医院		さいたま市見沼区風渡野271	産婦人科	なし
指扇病院		さいたま市西区平方領領家983	内科、外科	なし
田中整形外科		さいたま市岩槻区鹿室987-1	整形外科	なし

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績（平成27年度）

1. 小児疾患集談会

開催日・場所	内 容	出 席 者
第123回 平成27年 6月12日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①神経科 ②代謝・内分泌科 2. 基礎講座 家族支援を考えよう	院外 18名 院内 45名 合計 63名
第124回 平成27年 9月11日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①外科 ②血液・腫瘍科 2. 基礎講座 外用薬の使い方とスキンケア	院外 17名 院内 37名 合計 54名
第125回 平成27年11月27日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①感染免疫・アレルギー科 ②総合診療科 2. 基礎講座 子どもの目の異常－見つけるポイント－	院外 18名 院内 29名 合計 47名
第126回 平成28年 3月11日 場所：小児医療センター	1. 基礎講座 おしりの皮膚異常と脳神経外科疾患 2. 教育講演 外来診療でもできる発達障害児へのトレーニング	院外 14名 院内 39名 合計 53名

2. 唇顎口蓋裂セミナー

開催日・場所	内 容	出 席 者
第3回 平成27年10月 5日 場所：彩の国すこやかプラザ	1. 小児のいびき・睡眠時無呼吸 講師：当センター 耳鼻咽喉科 2. 症例検討	院外 26名 院内 15名 合計 41名
第4回 平成28年 2月15日 場所：彩の国すこやかプラザ	1. インプラントによる顎裂部の咬合再建 －顎裂部への永久歯の矯正移動は最善の治療と 言えるのか？－ 講師：昭和大学 2. 症例検討	院外 28名 院内 13名 合計 41名

3. 小児在宅看護研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
第12回 平成28年 2月 6日 場所：小児医療センター	テーマ 「在宅療養を必要とする小児のフィジカルアセスメント」 1. 講演 ①小児の基本的な全身管理について — 呼吸・けいれんの見方 — 講師：当センター 神経科 ②在宅療養を必要とする小児看護の見方・考え方 講師：当センター	訪問看護ステーション 58名 特別支援学校 7名 院外計 65名 院内 0名 合計 65名

4. 小児在宅看護勉強会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成27年10月29日 場所：彩の国すこやかプラザ	埼玉県訪問看護ステーション協会 勉強会 「小児の在宅看護の現状と連携」 講師：在宅支援相談室 看護師	訪問看護師 35名

5. 小児がん医療従事者研修

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成27年10月 3日 10月31日 12月19日 場所：さいたま新都心 With You さいたま セミナー室	<10月3日(土) 10:00~16:30> ①「小児がん拠点病院の役割と小児がん医療体制」 講義 講師 血液・腫瘍科	① 82名
	②「小児がんの代表的な疾患の病態と治療」 講義 講師 血液・腫瘍科	② 86名
	③「治療プロトコールと検査データの読み方」 講義 講師 血液・腫瘍科	③ 88名
	④「小児がん患者の症状マネジメント オンコロジックエマージェンシー」 講義 講師 血液・腫瘍科	④ 87名
	<10月31日(土) 10:00~16:30> ⑤「子どもと家族への支援」 講義 講師 小児看護専門看護師	⑤ 62名
	⑥「小児がんの相談支援 地域連携と社会資源」 講義 講師 地域連携・相談支援センター	⑥ 64名

	<p style="text-align: center;">ソーシャルワーカー</p> <p>⑦「造血幹細胞移植治療について」 講義 講師 血液・腫瘍科</p> <p>⑧「造血幹細胞移植を受ける子どもとその家族の看護」 講師 がん化学療法看護認定看護師 内科看護師</p> <p><12月19日(土) 10:00~16:00></p> <p>⑨「小児がん患者と家族のこころのケア」講義/グループワーク 講師</p> <p>⑩「小児がんの終末期ケア」 講義 講師 筑波大学大学院 人間総合科学研究科</p>	<p>⑦ 75名</p> <p>⑧ 69名</p> <p>⑨ 64名</p> <p>⑩ 63名</p> <p>参加者総数 32施設 医療従事者・他 124名</p>
--	---	--

6-1. 研修会・講演（地域連携・相談支援センター）

開催日・場所	内 容	出席者
平成27年8月 5日 場所：がん研究会有明病院	親ががんになった子供のケア講座 「がん診療における子ども達への接し方」 講師：当センター チャイルド・ライフ・スペシャリスト	医師・看護師等 96名
平成27年 8月24日 場所：埼玉県立岩槻特別支援学校	「入院を経験した子どもとのかかわり」講座 「チャイルド・ライフ・スペシャリストの役割について」 講師：当センター チャイルド・ライフ・スペシャリスト	教師 60名
平成27年 8月10日 場所：埼玉県立岩槻特別支援学校	病弱教育を考える会 「小児専門病院における医療ソーシャルワーカーの役割」 講師：当センター ソーシャルワーカー	教師等 65名
平成27年11月 9日 場所：小児医療センター	小児がん相談支援センター 患者家族セミナー テーマ：「小児がんの今」 ①小児がん拠点病院として 講師：当センター 血液腫瘍科 ②小児がんって何 講師：当センター 血液腫瘍科 ③療養生活のサポート体制 講師：当センター ソーシャルワーカー	患者家族 13名 関係機関 4名 その他 3名

平成27年11月12日 場所：東京八重洲ホール	関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会相談支援部会 「小児がん患者のための社会資源～経済的支援を中心に」 講師：当センター ソーシャルワーカー	ソーシャルワーカー 看護師他 34名
平成27年7月4日 場所：さいたま市民会館大宮	埼玉県小児保健協会第83回研究会 「小児病院における虐待予防と早期介入 －虐待対応チームの活動を通して－」 講師：当センター ソーシャルワーカー	医師・看護師 教師等 合計 122名
平成27年7月11日 場所：埼玉会館	埼玉県医療社会事業協会新人研修 「ソーシャルワーカーであるということ －過去・現在・未来の自分へのメッセージ」 講師：当センター ソーシャルワーカー	ソーシャルワーカー 38名
平成27年12月5日 場所：国立がん研究センター	小児がん相談員専門研修 「小児がん患者家族を支える社会資源」 講師：当センター ソーシャルワーカー	医師・看護師 ソーシャルワーカー等 40名

6-2. 研修会・講演（保健発達部門）

開催日・場所	内 容	出席者
平成27年 6月18日 場所：蓮田特別支援学校	自立活動研修会 「プール活動を楽しく」 講師：当センター 理学療法士	教師 50名
平成27年 6月18日・ 21日 場所：大宮ふれあいセンター	さいたま市手話奉仕員養成講習会(入門コース)合同講義 聴覚障害者のコミュニケーション 講師：当センター 言語聴覚士	教諭、保育士、 他40名
平成27年 7月24日 場所：越谷市障害者福祉センター	越谷市要約筆記者養成講習会特別講演 耳のしくみ～聴覚障害に関する基礎知識～ 講師：当センター 言語聴覚士	教師、保育士、 他40名

平成27年 7月27日 場所：埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校	自立活動研修会 「医療と教育のより良い連携を目指して」 講師：当センター 理学療法士	教師 50名
平成27年 8月 3日 場所：小川町立小川小学校	学校保健委員会 「子どもの姿勢と運動」 講師：当センター 理学療法士	教師等 30名
平成27年 8月31日 場所：埼玉県立越谷特別支援学校	特別支援学校 自立活動部全体研修 公開講座 「感覚統合の視点による運動障害児の理解と支援」 講師：当センター 作業療法士	教師 80名
平成27年11月 6日 場所：さいたま市障害者総合センターひまわり学園	療育勉強会 「脳性麻痺児の痙縮治療 理学療法評価」 講師：当センター 理学療法士	医師・看護師・ 理学療法士・ 保育士 25名
平成27年11月7日 場所：埼玉県県民健康センター	埼玉県小児保健協会第84回研究会 「子どもの運動障害とその支援」 講師：当センター 理学療法士	保健師等 50名
平成27年11月11日 場所：埼玉県立宮代特別支援学校	宮代特別支援学校 校内研修会 「感覚調整障害に対する作業療法」 講師：当センター 作業療法士	教師 80名
平成27年12月23日 場所：埼玉県立宮代特別支援学校	東部地区ネットワーク会議 講師：当センター 作業療法士・理学療法士	教師 50名 医療従事者 20名

研修指導者名簿

(平成 27 年度)

氏名	職種	所属	職名	臨床年数	特記事項
	医師			38	責任者
	医師			34	
	医師			34	
	医師	総合診療科		33	
	医師	遺伝科		30	
	看護師	看護部		34	
	理学療法士	保健発達部		28	
	臨床心理士	保健発達部		17	
	臨床検査技師	検査技術部		35	
	薬剤師	薬剤部		35	
	栄養士	栄養部		26	

埼玉県立小児医療センター地域医療連携推進事業運営規程

(目 的)

第1条 地域医療連携推進事業（以下「連携事業」という。）とは、埼玉県立小児医療センター（以下「センター」という。）と地域医療機関とが機能分担するとともに、より緊密に連携協調し、センターが「かかりつけ医」機能の支援を行うことにより、地域医療の向上に貢献することを目的とする。

(概 要)

第2条 センターの連携事業の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
- (2) 救急医療の提供
- (3) 地域医療従事者に対する研修の実施
- (4) 共同利用の実施
 - ア 入院診療への参加
 - イ 手術への参加
 - ウ 診断機器の利用
 - エ 病理解剖の受託

(登録医療機関)

第3条 入院診療及び手術に参加する県内医療機関は、センターに登録し、「登録医療機関」となるものとする。

2 登録医療機関の医師（以下「登録医」という。）は、センター組織には属さず、病院職員に対する直接の指示権限は有さないものとする。

3 登録医の登録年限は2年とする。ただし、登録医とセンターの双方に異存がない場合は自動的に延長されるものとする。

(紹介患者に対する医療提供)

第4条 センターは、医師からの紹介患者の診療を行うものとする。

2 紹介は診療情報提供書に基づき行うこととするが、緊急の場合には電話紹介によることもできることとする。

3 センターでの診療で病状が軽快した者及び治療方針が確定した者等については、紹介医療機関又は地域の医療機関へ逆紹介するものとする。

(救急医療の提供)

第5条 センターは、24時間体制で医師からの紹介に基づく二次ないし三次救急（重症患者）を行うものとする。

2 センターは、24時間体制により医師からの依頼に基づく分娩立会いによる新生児搬送を行うものとする。

(地域の医療従事者に対する研修の実施)

第6条 センターは、一定のプログラムのもとに地域の医療従事者を対象に症例検討会等各種研修会を行うものとする。

2 地域の医療従事者は、センターの図書室管理規程に従って、図書を閲覧することができる。

3 センターは、個別の研修の受入れを行うものとする。

(入院診療への参加、手術への参加)

第7条 登録医の利用する病床(共同利用病床)は、8床とする。

2 共同利用病床への入院は、他の入院と同様にセンターの所定の手続のもとに行い、入院患者はセンターの担当医の責任で診療するものとする。

3 登録医は、担当医への事前連絡のもと、担当医とともに患者の診療、診療方針の協議を行うものとする。

4 登録医は、担当医とともに手術に参加することができる。

(登録医の留意事項)

第8条 登録医は、次に掲げる事項を遵守するものとする。

(1) 登録医が患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為を指示するときは、担当医を介して行うものとする。

(2) 患者家族への説明は、担当医と協議の上、行うものとする。

(3) 登録医が来院するときは、担当医に連絡するものとする。

(4) センターの慣行、取決め等に従うものとする。

(高度診断機器の利用)

第9条 高度診断機器の利用担当外来を設置するものとする。

2 外来受診は、紹介、予約制とする。

(病理解剖の受託)

第10条 外部から依頼された病理解剖をセンターの取扱規程に基づいて行うことができるものとする。

(地域医療連携室)

第11条 本事業の円滑な運営のため、地域医療連携室(以下「連携室」という。)をセンター内に設置する。

2 連携室は、登録医からのセンター施設利用の要請及び来院時の対応、センターの担当医師との連絡調整を主たる業務とする。

3 連携室の責任者は、センターの外来担当副病院長とする。

(検討委員会)

第12条 連携事業の実施に当たり運営の円滑化及び諸問題を協議するために、検討委員会を設ける。

(規程の改正)

第13条 本規程は、検討委員会で協議の上、改正することができる。

附 則

この規程は、平成10年10月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年 3月 1日から施行する。

埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会委員名簿

平成26年4月1日現在

(順不同)

氏 名	職 名 (勤務先：所在地)
いわま よしひこ 岩間 義彦	浦和医師会理事 (岩間こどもクリニック：さいたま市緑区)
なかざと ゆたか 中里 豊	大宮医師会理事 (中里小児科：さいたま市見沼区)
せき たかし 関 孝	大宮医師会 (せきクリニック：さいたま市大宮区)
にしかわ きよし 西川 潔	川越市医師会 (西川医院：川越市)
かく た おきむ 角 田 修	熊谷市医師会理事 (かくたクリニック：熊谷市)
とりやま よしひと 鳥山 義仁	北足立郡市医師会理事 (鳥山こどもクリニック：伊奈町)
かわかみ てつお 川上 哲夫	上尾市医師会理事 (かわかみこどもクリニック：上尾市)
まえじま しずあき 前島 静顕	南埼玉郡市医師会会長 (蓮田病院：蓮田市)
たかぎ まなぶ 高木 学	南埼玉郡市医師会理事 (扶顛堂たかぎクリニック：久喜市)
おかだ しんじ 岡田 新司	春日部市医師会副会長 (岡田医院：春日部市)
たけだ ひろき 竹田 広樹	春日部市医師会副会長 (竹田クリニック：春日部市)
みね まひと 峯 眞人	岩槻医師会会長 (峯小児科：さいたま市岩槻区)
じん の なおあき 神野 直昭	岩槻医師会理事 (じんの小児科：さいたま市岩槻区)

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日